

羽村市事業仕分け 議事録

実施日	平成 22 年 12 月 11 日（土曜日）
会 場	市役所 4 階会議室（第 2 会場）
事業名	2 - 1 児童館の管理運営事業
出席者 （敬称略）	【コーディネーター】進邦徹夫 【仕分け人】双木達雄、塩田篤、伊藤保久、石川美紀
担当課	児童青少年課
質疑応答	<p>（仕分け人）それぞれの児童館で同じような事業を行っているようだが、各事業の実施にあたっては、外部へ委託しているのか。</p> <p>また、外部へ委託しているのであれば、毎回同じところに依頼しているのか教えていただきたい。</p> <p>（説明者）外部へ委託しているのではなく、児童館の臨時職員で対応している。</p> <p>（仕分け人）委託料の中には、施設清掃委託料や電気設備保守管理委託料などがあるが、その中で、児童館総合維持管理委託料とは具体的にどのようなものなのか。</p> <p>（説明者）児童館総合維持管理委託の内容は、各児童館共通のものとして、館内清掃委託、消防設備委託、害虫駆除委託があり、また、受水槽の清掃委託があるが、これは東児童館と西児童館で行っている。</p> <p>さらに、冷暖房設備保守点検委託があり、東児童館で汚水清掃委託、映像管理システム保守点検を東児童館と西児童館で行っている。建築設備定期検査報告業務委託として児童館の中に悪い箇所がないか検査を行っている。</p> <p>以上が主な委託内容となるが、その他に特殊建築物定期調査として 3 年に 1 回実施しているものもある。</p> <p>（仕分け人）平成 21 年度進行管理の自己評価として、「計画どおり進行し、目標を達成できた」とあるが、3 館構想のメインであるプラネタリウムやパソコンが撤去されている中で、これらを考慮して評価した結果であれば少し疑問がある。何をもって達成できたと考えているのか。</p> <p>（説明者）3 館構想については、当初、3 館それぞれが特徴のある児童館事業を行うことで、市内全体として捉えた際に、3 つの特徴を活かした 1 つの児童館という位置づけで運営してきたが、地域の中で遊びの場が必要という考えから、特徴を持たせずに運用していくという形に方向転換しているものである。</p> <p>コンピュータ館を開館した当時は、コンピュータ自体が、家庭や学校に普及していなかったが、現在では、かなり普及してきていることから役目は終えたと判断し撤去したものである。プラネタリウムについては、当初、</p>

先進的に取り組んできたところであるが、プラネタリウムが各地でも廃止された経緯もあるので廃止した。

現在の児童館事業としては、各児童館のスペースを利用した、子どもたちに対しての放課後の居場所を作ってあげるというように変化してきている。

中央児童館においては、現在も天体望遠鏡を使った星空広場という事業を行い、子どもたちに興味をもってもらうことも行っている。また、西児童館においては、コンピュータを撤去したスペースを活用して、自由に遊ばせたり、創作活動を行っている。東児童館については、体育室において体を動かした事業を行っている。

(仕分け人) 時代の流れによりコンピュータを撤去したということだが、撤去費用についてはどうなのか。

(説明者) コンピュータは、リースであったので、リース切れとともに再リースを行わなかった。子どもたちの遊びの主流が、室内遊びとなってきたことから、今後は、体を使った事業ができるスペースを確保していきたいと考える。

(仕分け人) コンピュータ館を作ったときから、コンピュータが普及した時点で撤去するという計画であったのか。または、維持管理の面で経費がかかるという判断から撤去したのか。

(説明者) 計画の中で撤去したわけではない。行政が児童館でコンピュータを提供する必要性がなくなったということである。

(仕分け人) 児童館コーディネーターやあそびクリエイターとはどのようなことをするのか。

(説明者) 児童館コーディネーターは、主に事業の企画立案、児童の指導育成、児童館の維持、あそびクリエイターは、内容的には同じだが、大きな違いは、児童館コーディネーターは、保育士や教員の資格があるものをいう。

(仕分け人) 3館がそれぞれ特色ある取り組みを行うより、同じような取り組みを行ったほうが、安い経費で運営できると思う。また、特に東児童館であるが、中学生から18歳の子どもが遊べる環境なのか疑問に思う。さらに、学童クラブなどがある中で、必要性はどのように考えているか。

(説明者) 児童福祉法では、18歳未満と規定されているが、羽村市の児童館における対象者は、主に小中学生としている。しかし、中学生にとっての利用は難しい問題である。利用者としては小学生が多い。

(仕分け人) 午前中は親子の利用が多いということだが、どのくらいの人数であるか。

(説明者) 平成21年度の3館の合計人数は、大人が12,715人、幼児が16,148人である。

(仕分け人) 利用人数は、毎日ほぼ同じなのか。それとも地域や曜日によ

る違いはあるか。

(説明者) 利用状況については、中学生が多いのは東児童館である。また、学校が早く終わる水曜日、そして土曜日、日曜日は小学生の利用が多い。乳幼児については、特に統計はとっていない。

(仕分け人) 一週間に6日開館しているということだが、そのうちの4日間は午後みの開館とし、2日間は午前中を閉館とすることはできるか。小学生が利用する午後の時間帯を中心に開館することが可能であるか。

(説明者) 現在、午前中の利用は、地域の子育て支援という位置付けでもあることから難しいと考える。

(仕分け人) ローテーションにより、常にどこかの児童館の午前中を閉館するという考えはできないか。

(説明者) 3館の相談件数は合わせて237件で、毎日利用されているわけではないが、相談の場を提供するという意味では、利用者に安心感を与えていると考える。

(仕分け人) 利用者に対してアンケートをとったことはあるのか。

(説明者) 子ども議会で、開館時間の延長について質問があった。そこで、来年、開館時間の延長について保護者の意見を聞くためにアンケートの実施を考えている。その際に、あわせて実施できれば行いたい。

(仕分け人) 相談件数をみると相談の場所というよりは、たまり場となっているように感じる。本来の目的である児童館の趣旨から離れているのではないか。また、児童館設立当初から子育て支援を計画していたのか。計画していなかったのであれば、相談の場は別に設けても良いのではないか。そうすることにより、児童館の運営の見直しが図れるのではないか。

(説明者) 集まる場の提供も大切なことであると考えている。相談員に相談しなくてもお母さん同士が子育ての悩みを解決できる場があることが大事。そういった意味では午前中の開館は効果があると考えている。

(仕分け人) 今後の課題問題点として、評価シートに「現在、乳幼児対象事業が中心となっていることから・・・児童館の中心的利用者である小学生に重点を置き、今後事業をどのように構築していくかが課題となっている。」とあるが、これまでの説明と矛盾を感じるが、相談事業も大事ということか。

(説明者) 時間帯によって児童館の棲み分けがされている。その中で、午後の部分に関して、市としても課題である小学生向けの事業を行っていく必要があると考える。

判 定	<p>市が実施 事業内容を見直すべきである。</p> <p>【市が実施（改善が必要）5人】</p> <ul style="list-style-type: none">・今後の課題として小学生を主体に置くというが具体性が不足している。・開館時間について検討してほしい。・法律に基づいているにもかかわらず補助金がないことに疑問を感じる。・3館が同じような取り組みを行なった方が安く運営できるのではないか。・小学生に重点を置いた事業を展開してほしい。
------------	---